

平成 27 年 3 月 19 日  
つくし保育園

## 平成 26 年度 第 2 回 苦情解決第三者委員との話し合い報告

第 2 回；平成 27 年 3 月 10 日(火)PM7：00～8：30

出席者；第三者委員：石丸寛秋・渡辺直子

園担当者：大塩千恵子・沢登博美

- ① 平成 26 年度下半期は、保護者からの苦情はなかった。保護者に対しては、必要な時に直接お話をしたり、子どもについて懇談を実施したりしてきた。その積み重ねの中で信頼関係が作られてきたと思う。
- ② 下半期に実施した「保育園の評価に関するアンケート」の結果を沢登が報告した。(内容別紙)
  - ・ 保育園に関する年間のアンケートでは、保護者の方の大半の意見が集約できるように努力した結果、回収率が 92%と高くなった。未提出は 4 世帯だった。
  - ・ 保育内容については励みとなるご意見を多く頂いた。子ども達一人ひとりを大切にしていって熱心に対応してくれている。子どもの思いをきちんと受け止めてくれているなど、保育の基本的姿勢については、園の方針に沿って努力しているところが保護者にも理解していただいていると感じる。
  - ・ 給食については、回答者の 100%が「給食のメニューは充実している」と答えられている。保育と共に、給食が果たしている役割は大きい。また、食育の取り組みとして、魚を丸ごと捌くのをみんなで見たり、さんまの炭火焼きや節分のイワシ焼き、又年長児の味噌作りなど、旬を大切にしたり、伝統行事の取り組みなどが根付いてきている。給食の展示食を見て親子が「今日の給食は…」等と会話する姿が見られている。生活の中で食べる事を大切にしている姿が子どもを通して、保護者にも伝わっていると感じると報告した。
  - ・ ご意見の中では、今年から以上児クラスで「連絡帳に代えて」をれんらくちょうに貼り付けるのではなく、ボードへの張り紙にしたことについて「今までの様にやってほしい。張り紙では何も残らない」という意見を頂いた。職員で検討したところでは、昼間の会議や、教材準備など毎日連絡帳が書けない現実も保護者に伝えながら、子どもたち自身(以上児クラス)がお家の人たちに、今日あったことや連絡事項を伝える力もつけていきたいと考えている。今後も、このやり方で進めていく事を職員間で確認したので、保護者の皆様にはご理解いただくようにしていきたいと報告をした。

- ・ 其他のご意見に対しては、写真の取り扱い、こどもや保護者の相互の挨拶について、靴を踏まないようにしつけてほしい等、率直なご意見ご指摘があり、保育者はできる事は意識して改善していく事を確認した。しかし、園舎の広さ等条件が厳しいことについては、御理解いただかなくてはならないこともある。また保護者の皆さんが自ら子どものお手本になるような行動を子どもたちに見せていただくことも大切ではないか等話し合った事を報告した。

### ③ 保育者の自己評価について

- ・ 保育者の自己評価を沢登が報告をした。今年度も各自がたてた目標に対して、それぞれ反省をする形で自己評価をした。目標は、職員が自覚的に学び合えるような園をめざすことや、子どもの成長発達を保障していく保育を進めること、保育実践を記録して振り返り保育に活かしていく事、子どもが主人公になれる保育を進めるなど、園の保育方針や子ども像に沿った目標設定がされていた。
- ・ その目標に対しての振り返りでは、研修、園内研修には積極的に参加してきて充実した学習ができたという意見があるが、自己学習を深める事や、保育を記録して振り返る所が不十分だったという反省が多かった。
- ・ 今後の課題は、保育観の違いがあったり、様々な場面において意見の食い違いなどもあるが、問題を解決していく時に組織的な対応ができているか、また保育の現場で互いに切磋琢磨していく姿勢で臨んでいるか等があげられる。大きくは保育理念に沿って職員が同じ報告を向いて討論したり意見を出し合い、より良い保育をめざしていける職員集団を作っていくという点に集約されると思う。

### ④ 第三者委員より、寄せられた意見・アドバイス

- ・ アンケート結果へのお返事の中で3か所「申し訳ございませんでした。」という文言が入っているが、果たしてこのご意見に対して必要な文言だろうかという指摘があった。大切にしていく事はみんなを進めていくが、できない事や園の方針として進めていくと決めたことに対しては「ご理解とご協力を頂く」しかないのではないか。またそのことに揺らぐことはないのではと励まされた。保護者はお客様にしてはいけないのではというご意見を頂いた。アンケート結果の文章をもう一度見直して、年度末に保護者に返していく事を伝えた。
- ・ 平成27年4月から、子ども・子育て支援制度が施行される。この制度の中で保育者の勤務評定とも思われるような「職務評価」が導入されることや、多様な施設に多様な基準が導入されていく事などをお知らせすると「小学校で

もお試しで 4 月から職務評価が進められる。東京はすでに導入されているので、経験の少ない教員がどんどんつぶれているということを聞いている」等の話がされた。職務評価は誰も望んでいない。数十年前に教職員に課せられた「勤務評定」と同じような取組の様な気がするとのことだった。

- 新制度についてはまだまだ不十分な所もあるので、保護者と共に学習しながら「子どものために」という点で行動できるようにしたいと話をした。

⑤ その他

- 平成 27 年度も、引き続き第 3 者委員をお願いしたいと話をする、お二人が快く引き受けて下さることになり委嘱状をお渡しした。
- 今期の交通費各回 2000 円(2 回分)をお二人にお支払いをした。